

ONE FOR ALL ALL FOR ONE

生活指導通信 第13号 令和2年2月27日(木)

「学び合う」ということ。

実力テストと学年末考査が終わりました。テストが返却され、普段の学習への取り組みにそれぞれ反省点が出てきているのではないのでしょうか。家庭での学習も大切ですが、授業の時間もとても大切です。集中して取り組むことができますか？

授業の中では、ペアやグループになって話し合うような活動があります。話し合うことはみんなの視野を広げ、学びを深める絶好のチャンスであると思います。そしてこれから先(中学校卒業後も)、いろんな人と話し合っ



突然ですが、なぜなのでしょう。

「交換すると増えるものってな〜んだ??」

答えは「 」(右下)です。

イギリスの有名な劇作家がこんな言葉を残しています。

「もし君と僕がリンゴを交換したら、持っているリンゴはやはり、ひとつずつだ。でも、もし君と僕がアイデアを交換したら、持っているアイデアは2つずつになる。」

人と人が協力できれば1+1が3にも4にもなる、なんて言葉を聞いたことはあると思います。4~6人で1つの班がそれぞれのアイデアを共有することができれば、自分のアイデアが4つも6つも増えることになります。

つまり、普段の授業で行っている話し合いや学び合いの時間が、自分にとっての大きなプラスになることがわかります。また授業だけでなく、SHR や部活動の中でも多くの話し合い、学び合いがあ



ります。それぞれが自分を成長させてくれるチャンスであると考え、積極的に自分のアイデアを発信し、多くの人のアイデアを聴く姿勢を大切にしてほしいと思います。

合言葉は One For All All For One!!
話し合い、学び合いの時間を大切に。

3年生を送る会に向けて

3年生を送る会の取り組みが本格的にスタートしました。3年生は1, 2年生に、1, 2年生は3年生に感謝の気持ちと、今後に向けてのエールを送ることができるような会にしたいですね。



「人のために声の出せる人ってすごいな〜」と強く感じたことがあります。例えば応援団の人たち。スポーツの大会で、顔を真っ赤にして、大きな声で応援している人たちをテレビか何かで一度は見たことあるかと思います。先生も高校野球を観戦するため、甲子園へ行ったことがあるのですが、そこにも応援団の人たちがいました。応援団の人たちは周りがびっくりするほど大きな声で、一生懸命自分のチームを応援していました。

勝利したことで注目されたり、褒められたりするの、そのチームや選手ですし、負けたところでなぐさめられたり、励まされたりするのも、そのチームや選手です。応援団の人たちは、自分の応援したチームが勝っても注目されることはないでしょうし、褒められることもないでしょう。また負けたところで、なぐさめられるわけでも、励まされるわけでもありません。でもその応援団の人たちは必死で声を出すのです。一生懸命応援しているのです。その姿を見て先生は本当に感動しました。自分の利益や不利益に関わらず、誰かのために声が出せるってこんなにも素晴らしいことなんだと思ったことをよく覚えています。



来月の3年生を送る会も同じだと思います。自分たちのためだけでなく、自分以外の誰かのために一生懸命になって声が出せることは素晴らしいことです。誰かのために一生懸命になれる心の豊かさを身につけた人に成長してほしいと思います。

合言葉は One For All All For One!!
先輩として! 後輩として!
一生懸命のエールを!

答え⇒⇒⇒「アイデア」